

－ 国試からみた呼吸器外科病院実習 －

1. 医療と関連法規
2. 臨床試験とEBM
3. がんの分子生物学と薬物療法
4. 肺腫瘍総論
5. 肺癌の診断
6. 肺癌の治療
7. 縦隔疾患
8. 胸膜疾患
9. 救急疾患

---

10. 実践編



産業医科大学第2外科・田中文啓

－ 国試からみた呼吸器外科病院実習 －

・ 医療と関連法規

- 1, 医療と関連法規：総論
- 2, 医療と関連法規：各論
  - ・ 医師法とその規定
  - ・ 医療法とインフォームドコンセント
  - ・ 医療法と医療安全

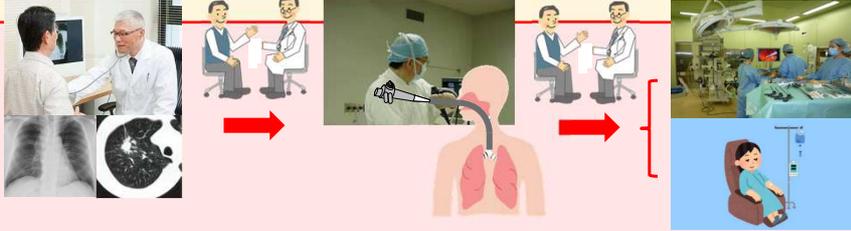
# 安全で高度な医療を提供するために

## 六法：守秘義務(刑法)



### 医療法・医師法

- 医師法：無診察治療等の禁止、異常死体の届出等
- 医療法：特定機能病院、インフォームド・コンセント等



- 保険診療
- 医療機関と医師がともに指定が要件(自由意思)
  - 医療費は全医療機関一律
  - 健康診断は禁止

### 健康保険法など

全額自費負担：自由診療(医療費は自由に決めてよい)・健康診断など

## 国試問題 113F32

法律とその内容の組み合わせで誤っているのはどれか。

- |               |       |                |
|---------------|-------|----------------|
| a. 医療法        | ----- | 無診察治療の禁止       |
| b. 労働基準法      | ----- | 産前産後休業         |
| c. 健康増進法      | ----- | 受動喫煙の防止        |
| d. 児童福祉法      | ----- | 小児慢性特定疾患の医療費助成 |
| e. 労働者災害補償保険法 | ----  | 業務災害に関する給付     |

国試問題  
111E15

医療法で規定されているのはどれか。

- a. 応召義務
- b. 医業の独占
- c. 医師臨床研修
- d. 異状死体の届出義務
- e. 医療機関の管理者要件

国試問題  
110G30

設置根拠が医療法によるのはどれか。

- a. 保険薬局
- b. 特定機能病院
- c. 母子保健施設
- d. 介護老人保健施設
- e. 柔道整復師による施術所

国試問題  
111G30

保険医について正しいはどれか。

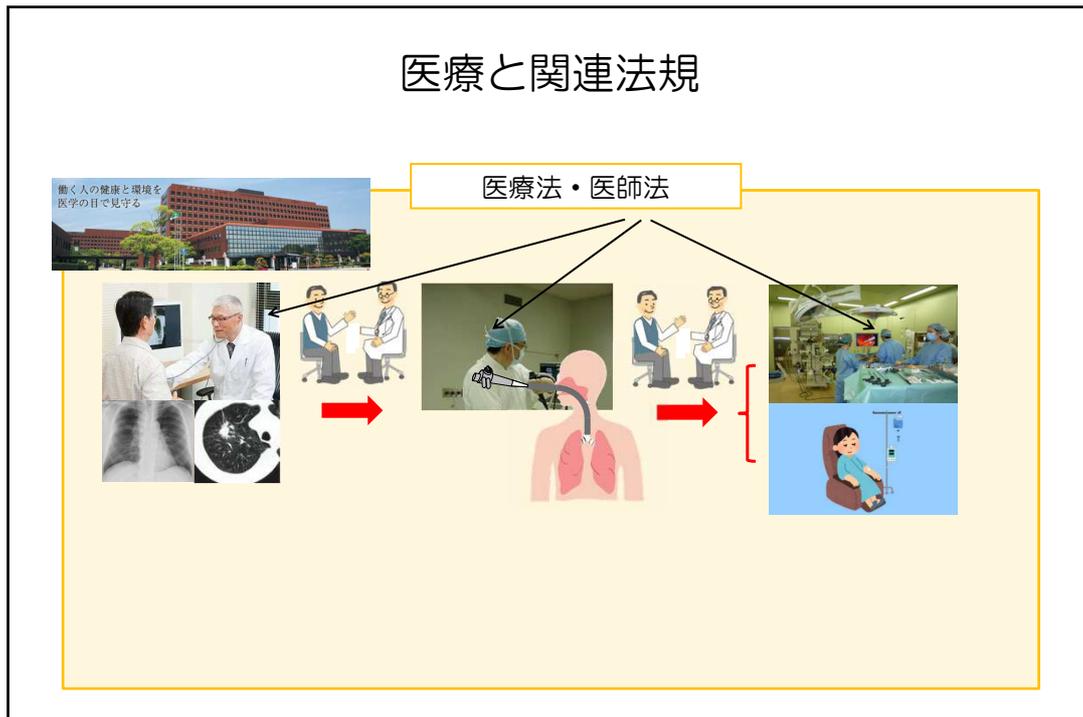
- a. 医師法に規定されている
- b. すべての医師は登録する義務がある
- c. 保険診療に関する費用を任意に設定できる
- d. 保険診療として健康診断を行うことができる
- e. 保険診療を行うには医療機関も指定を受けていなければならない

国試問題  
110G30

医師の守秘義務を定めた法律はどれか。

- a. 医師法
- b. 医療法
- c. 刑法
- d. 個人情報の保護に関する法律
- e. 特定秘密の保護に関する法律

## 医療と関連法規



## 医師法と主な規定

- 1条 医師の任務
- 4条 相対的欠格事由
  - ・ 麻薬、大麻、あへん中毒、罰金刑以上の刑に処せられたもの、等
- 6条 登録・免許証の交付及び届出
- 7条 医師の処分
- 11条 医師国家試験受験資格
- 17条 医師以外の医業の禁止
- 19条 応召義務及び診断書交付の義務
- 20条 無診療治療等の禁止
- 21条 異状死体などの届出義務
- 22条 処方箋の交付義務
- 24条 診療録の記載及び保有

国試問題  
113F32

法律とその内容の組み合わせで誤っているのはどれか。

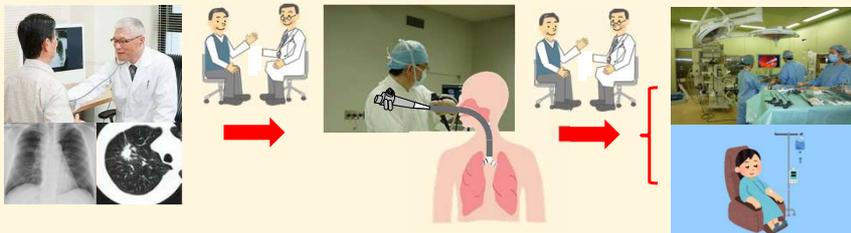
- a. 医療法 ----- 無診察治療の禁止
- b. 労働基準法 ----- 産前産後休業
- c. 健康増進法 ----- 受動喫煙の防止
- d. 児童福祉法 ----- 小児慢性特定疾患の医療費助成
- e. 労働者災害補償保険法 ---- 業務災害に関する給付

医療と関連法規

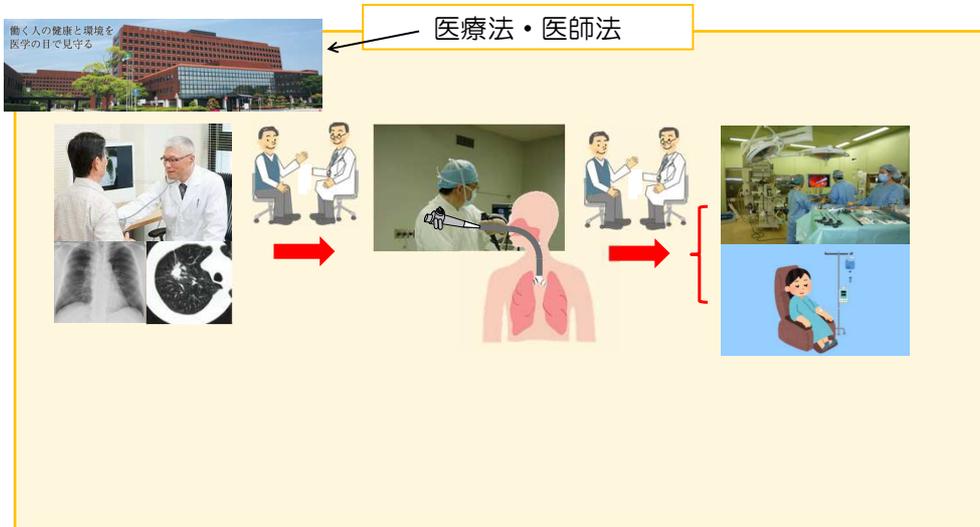


医療法・医師法

・医師法：応召義務、無診察治療等の禁止、異常死体の届出等



## 医療と関連法規



## 医療法と主な規定



- 1条 医療提供施設
  - ・病院、診療所、介護老人保健施設、調剤を実施する薬局、その他
- 4条 特定機能病院など
  - ・特定機能病院、地域医療支援病院、臨床研究中核病院
- 6条 医療に関する情報の提供(インフォームドコンセント)など  
医療の安全の確保
  - ・医療事故調査制度
- 7条 病床
  - ・精神病床、感染症病床、結核病床、療養病床、一般病床
- 10-23条  
管理

## 医療法と主な規定



- 1条 **医療提供施設**  
・病院、診療所、介護老人保健施設、調剤を実施する薬局、その他
- 4条 **特定機能病院など**  
・特定機能病院、地域医療支援病院、臨床研究中核病院
- 6条 **医療に関する情報の提供(インフォームドコンセント)など  
医療の安全の確保**  
・医療事故調査制度
- 7条 **病床**  
・精神病床、感染症病床、結核病床、療養病床、一般病床
- 10-23条  
**管理**

## 国試問題 111E15

医療法で規定されているのはどれか。

- 応召義務
- 医業の独占
- 医師臨床研修
- 異状死体の届出義務
- 医療機関の管理者要件

## 医療法と主な規定



- 1条 医療提供施設
- ・病院、診療所、介護老人保健施設、調剤を実施する薬局、その他
- 4条 特定機能病院など
- ・特定機能病院、地域医療支援病院、臨床研究中核病院
- 6条 医療に関する情報の提供(インフォームドコンセント)など  
医療の安全の確保
- ・医療事故調査制度
- 7条 病床
- ・精神病床、感染症病床、結核病床、療養病床、一般病床
- 10-23条  
管理

## 国試問題 110G30

設置根拠が医療法によるのはどれか。

- 保険薬局
- 特定機能病院
- 母子保健施設
- 介護老人保健施設
- 柔道整復師による施術所

## 医療法と主な規定



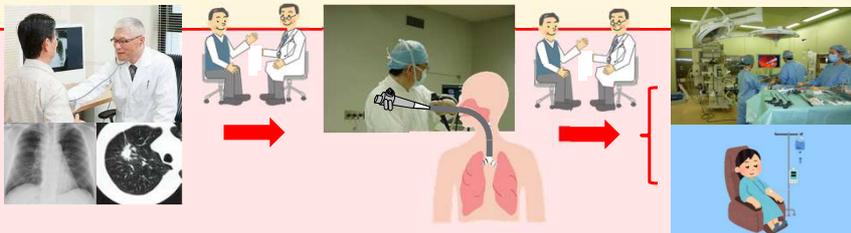
- 1条 医療提供施設
  - ・病院、診療所、介護老人保健施設、調剤を実施する薬局、その他
- 4条 特定機能病院など
  - ・特定機能病院、地域医療支援病院、臨床研究中核病院
- 6条 医療に関する情報の提供(インフォームドコンセント)など  
医療の安全の確保
  - ・医療事故調査制度
- 7条 病床
  - ・精神病床、感染症病床、結核病床、療養病床、一般病床
- 10-23条 管理

## 医療と関連法規



### 医療法・医師法

- ・医師法：心召義務、無診察治療等の禁止、異常死体の届出等
- ・医療法：特定機能病院、インフォームド・コンセント等



- 保険診療
- ・医療機関と医師がともに指定が要件(自由意思)
  - ・医療費は全医療機関一律
  - ・健康診断は禁止

### 健康保険法など

全額自費負担：自由診療(医療費は自由に決めてよい)・健康診断など

## 国試問題 111G30

保険医について正しいはどれか。

- a. 医師法に規定されている
- b. すべての医師は登録する義務がある
- c. 保険診療に関する費用を任意に設定できる
- d. 保険診療として健康診断を行うことができる
- e. 保険診療を行うには医療機関も指定を受けていなければならない

## 医療と関連法規

六法：守秘義務(刑法)



### 医療法・医師法

- 医師法：応召義務、無診察治療等の禁止、異常死体の届出等
- 医療法：特定機能病院、インフォームド・コンセント等



保険診療

- 医療機関と医師がともに指定が要件(自由意思)
- 医療費は全医療機関一律
- 健康診断は禁止

健康保険法など

全額自費負担：自由診療(医療費は自由に決めてよい)・健康診断など

国試問題  
110G30

医師の守秘義務を定めた法律はどれか。

- a. 医師法
- b. 医療法
- c. 刑法
- d. 個人情報の保護に関する法律
- e. 特定秘密の保護に関する法律

産業医科大学5回生病院実習講義

－ 国試からみた呼吸器外科病院実習 －

・ 医療と関連法規

1, 医療と関連法規：総論

2, 医療と関連法規：各論

- ・ 医師法とその規定
- ・ 医療法とインフォームドコンセント
- ・ 医療法と医療安全

国試問題  
110F1

医師の届け出義務が医師法に規定されているのはどれか。

- a. 異状死体
- b. 食中毒患者
- c. 被虐待児童
- d. 麻薬中毒患者
- e. 医薬品による副作用

国試問題  
115B3

医師法に規定されないのはどれか。

- a. 応召義務
- b. 守秘義務
- c. 臨床研修
- d. 処方箋の交付
- e. 診療録の記載

## 医師法と主な規定

- 1条 医師の任務
- 4条 相対的欠格事由
  - ・麻薬、大麻、あへん中毒、罰金刑以上の刑に処せられたもの、等
- 6条 登録・免許証の交付及び届出
- 7条 医師の処分
- 11条 医師国家試験受験資格
- 17条 医師以外の医業の禁止
- 19条 応召義務及び診断書交付の義務
- 20条 無診療治療等の禁止
- 21条 異状死体などの届出義務
- 22条 処方箋の交付義務
- 24条 診療録の記載及び保有

## 医師法と主な規定

- 1条 医師の任務
- 4条 相対的欠格事由
  - ・麻薬、大麻、あへん中毒、罰金刑以上の刑に処せられたもの、等



## 医師法と主な規定

- 1条 医師の任務
- 4条 相対的欠格事由
  - ・麻薬、大麻、あへん中毒、罰金刑以上の刑に処せられたもの、等
- 6条 登録・免許証
- 7条 医師の処分
- 11条 医師国家試験受験資格

医籍登録



## 医師法と主な規定

- 1条 医師の任務
- 4条 相対的欠格事由
  - ・麻薬、大麻、あへん中毒、罰金刑以上の刑に処せられたもの、等
- 6条 登録・免許証の交付及び届出
- 7条 医師の処分
- 11条 医師国家試験受験資格
- 17条 医師以外の医業の禁止
- 19条 応召義務及び診断書交付
- 20条 無診療治療等の禁止
- 21条 異状死体などの届出義務
- 22条 処方箋の交付義務
- 24条 診療録の記載及び保有





## 医師法と主な規定



診療録(カルテ)

処方せん

薬局



- 19条 応召義務及び診断書交付の義務
- 20条 無診療治療等の禁止
- 21条 異状死体などの届出義務
- 22条 処方箋の交付義務
- 24条 診療録の記載及び保有

## 医師法と主な規定



(時間がないので)  
いつもの薬だけ  
だしてください



診療録(カルテ)

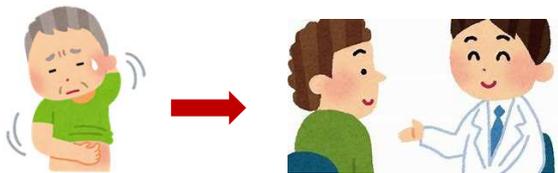
処方せん

薬局



- 19条 応召義務及び診断書交付の義務
- 20条 無診療治療等の禁止
- 21条 異状死体などの届出義務
- 22条 処方箋の交付義務
- 24条 診療録の記載及び保有

## 医師法と主な規定



- 19条 応召義務及び診断書交付の義務
- 20条 無診療治療等の禁止
- 21条 異状死体などの届出義務
- 22条 処方箋の交付義務
- 24条 診療録の記載及び保有

## 国試問題 110F1

医師の届け出義務が医師法に規定されているのはどれか。

- a. 異状死体
- b. 食中毒患者
- c. 被虐待児童
- d. 麻薬中毒患者
- e. 医薬品による副作用

## 医師法と主な規定

- 1条 医師の任務
- 4条 相対的欠格事由
  - ・麻薬、大麻、あへん中毒、罰金刑以上の刑に処せられたもの、等
- 6条 登録・免許証の交付及び届出
- 7条 医師の処分
- 11条 医師国家試験受験資格
- 17条 医師以外の医業の禁止
- 19条 応召義務及び診断書交付の義務
- 20条 無診療治療等の禁止
- 21条 異状死体などの届出義務
- 22条 処方箋の交付義務
- 24条 診療録の記載及び保有

\*業務上の秘密を守る義務(守秘義務)、虚偽記載、過失致死(傷害)、墮胎等の罰は刑法が規定

## 医師法と主な規定

- 1条 医師の任務
- 4条 相対的欠格事由
  - ・麻薬、大麻、あへん中毒、罰金刑以上の刑に処せられたもの、等
- 6条 登録・免許証の交付及び届出
- 7条 医師の処分
- 11条 医師国家試験受験資格
- 17条 医師以外の医業の禁止
- 19条 応召義務
- 20条 無診療
- 21条 異状死
- 22条 処方箋
- 24条 診療録



\*業務上の秘密を守る義務(守秘義務)、虚偽記載、過失致死(傷害)、墮胎等の罰は刑法が規定

## - 国試からみた呼吸器外科病院実習 -

### • 医療と関連法規

1, 医療と関連法規：総論

2, 医療と関連法規：各論

- 医師法とその規定
- 医療法とインフォームドコンセント
- 医療法と医療安全

## 医療と関連法規

六法：守秘義務(刑法)



医療法・医師法

- 医師法：応召義務、無診察治療等の禁止、異常死体の届出等
- 医療法：特定機能病院、インフォームド・コンセント等



保険診療

- 医療機関と医師がともに指定が要件(自由意思)
- 医療費は全医療機関一律
- 健康診断は禁止

健康保険法など

全額自費負担：自由診療(医療費は自由に決めてよい)・健康診断など

国試問題  
115E8

出血性ショックによる意識障害のある患者が付き添いなく救急搬送され、緊急手術が必要であると判断された。患者は他院に通院歴があることが判明している。医療者の行為として誤っているのはどれか。

- a. 術前に家族に連絡を試みた
- b. 院内で緊急手術の必要性について討議した
- c. 通院歴のある医療機関へ診療情報の問い合わせをした
- d. 治験参加への同意書が未取得の段階で治験用の降圧薬を使用した
- e. 輸血開始時まで血液型が判明しなかったためO型Rh(-)の赤血球輸血を行った。

国試問題  
111F1

インフォームドコンセントについて誤っているのはどれか。

- a. 患者の理解が同意の前提になる
- b. 自己決定尊重の倫理原則に基づく
- c. 医療行為に対する承諾書のことである
- d. 患者の主体性を重んじて行う行為である
- e. 臨床研究に参加してもらう場合に必要になる

国試問題  
115E5

成人を対象としたインフォームド・コンセントについて正しいのはどれか。

- a. 本人と家族の同意が必要である
- b. 患者は同意をいつでも撤回できる
- c. 予後についての説明は必要ない
- d. 医師の過失責任を回避する目的で行う
- e. 最新の治療法を推奨しなければならない

国試問題  
113B1

インフォームドコンセントについて正しいのはどれか。

- a. 同意後は撤回できない
- b. 医師法に定められている
- c. 文書で意思を確認すればよい
- d. 医療従事者の責任回避が目的である
- e. 患者の主体性を重んじて行う行為である

国試問題  
114B8

インフォームドコンセントについて誤っているのはどれか。

- a. 医師法に定められている
- b. 患者の自己決定権の行使が目的である
- c. 代替可能な治療法についても提示する
- d. 同意はいつでも撤回することができる
- e. 医療従事者側からの十分な説明が前提である

国試問題  
112F24

医師の義務と規定する法律の組み合わせで正しいのはどれか。

- a. 守秘義務 ----- 医師法
- b. 応召義務 ----- 民法
- c. 説明義務 ----- 医療法
- d. 処方箋の交付義務 ----- 健康保険法
- e. 異状死体の届出義務 ----- 刑法

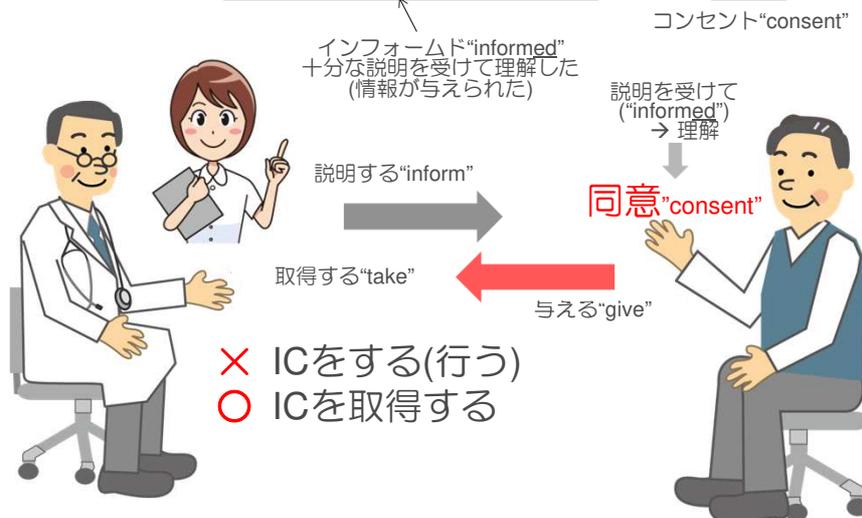
## 医療法と主な規定



- 1条 医療提供施設
  - ・病院、診療所、介護老人保健施設、調剤を実施する薬局、その他
- 4条 特定機能病院など
  - ・特定機能病院、地域医療支援病院、臨床研究中核病院
- 6条 医療に関する情報の提供(インフォームドコンセント)など  
医療の安全の確保
  - ・医療事故調査制度
- 7条 病床
  - ・精神病床、感染症病床、結核病床、療養病床、一般病床
- 10-23条  
管理

## インフォームドコンセント(IC)とは

- ・ 十分な説明を受けて理解した上での同意



国試問題  
115E8

出血性ショックによる意識障害のある患者が付き添いなく救急搬送され、緊急手術が必要であると判断された。患者は他院に通院歴があることが判明している。医療者の行為として誤っているのはどれか。

- a. 術前に家族に連絡を試みた
- b. 院内で緊急手術の必要性について討議した
- c. 通院歴のある医療機関へ診療情報の問い合わせをした
- d. 治験参加への同意書が未取得の段階で治験用の降圧薬を使用した
- e. 輸血開始時まで血液型が判明しなかったためO型Rh(-)の赤血球輸血を行った。

## IC説明文書作成のチェック項目

- 1, 以下の必要な項目が記入されているか。
  - ① 現在の病名と病態
  - ② 診療（手術・検査・治療）の目的・必要性・有効性
  - ③ 診療（手術・検査・治療）の内容と性格及び注意事項
  - ④ 診療（手術・検査・治療）に伴う危険性及びその発生率
  - ⑤ 偶発症発生時の対応
  - ⑥ 代替となる診療（手術・検査・治療）
  - ⑦ 何も診療（手術・検査・治療）しない場合に予想される経過
  - ⑧ 患者の具体的な希望
  - ⑨ 診療（手術・検査・治療）の同意を撤回する場合
  - ⑩ 連絡先
- 2, 可能な限り専門用語を用いず、平易な表現に努めているか。
- 3, 多義的な文章になっていないか、あいまいな表現はないか。
- 4, 合併症の発生率については、文献により確認する。

## IC説明文書作成のチェック項目

- 1, 以下の必要な項目が記入されているか。
  - ① 現在の病名と病態
  - ② 診療（手術・検査・治療）の目的・必要性・有効性
  - ③ 診療（手術・検査・治療）の内容と性格及び注意事項
  - ④ 診療（手術・検査・治療）に伴う危険性及びその発生率
  - ⑤ 偶発症発生時の対応
  - ⑥ 代替となる診療（手術・検査・治療）
  - ⑦ 何も診療（手術・検査・治療）しない場合に予想される経過
  - ⑧ 患者の具体的な希望
  - ⑨ 診療（手術・検査・治療）の同意を撤回する場合
  - ⑩ 連絡先
- 2, 可能な限り専門用語を用いず、平易な表現に努めているか。
- 3, 多義的な文章になっていないか、あいまいな表現はないか。
- 4, 合併症の発生率については、文献により確認する。

### 国試問題 111F1

インフォームドコンセントについて誤っているのはどれか。

- a. 患者の理解が同意の前提になる
- b. 自己決定尊重の倫理原則に基づく
- c. 医療行為に対する承諾書のことである
- d. 患者の主体性を重んじて行う行為である
- e. 臨床研究に参加してもらう場合に必要になる

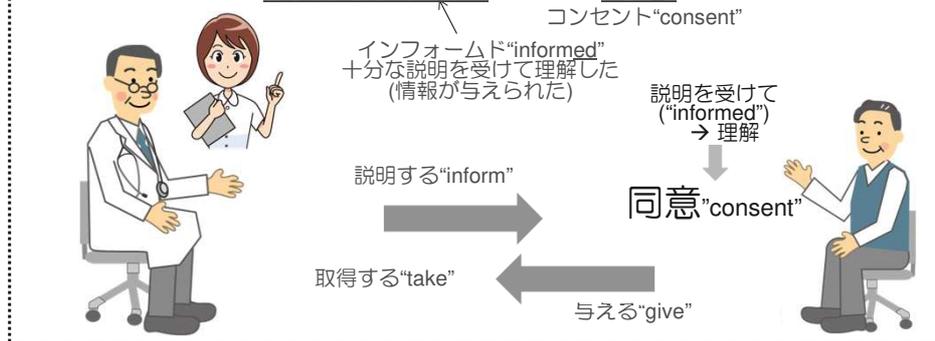
## 国試問題 115E5

成人を対象としたインフォームド・コンセントについて正しいのはどれか。

- a. 本人と家族の同意が必要である
- b. 患者は同意をいつでも撤回できる
- c. 予後についての説明は必要ない
- d. 医師の過失責任を回避する目的で行う
- e. 最新の治療法を推奨しなければならない

## ICに関する責務

・ 十分な説明を受けた上での同意



・ 医療安全

IC文書作成

IC文書審査  
指導

医療安全管理部・IC責任者

国試問題  
113B1

インフォームドコンセントについて正しいのはどれか。

- a. 同意後は撤回できない
- b. 医師法に定められている
- c. 文書で意思を確認すればよい
- d. 医療従事者の責任回避が目的である
- e. 患者の主体性を重んじて行う行為である

国試問題  
114B8

インフォームドコンセントについて誤っているのはどれか。

- a. 医師法に定められている
- b. 患者の自己決定権の行使が目的である
- c. 代替可能な治療法についても提示する
- d. 同意はいつでも撤回することができる
- e. 医療従事者側からの十分な説明が前提である

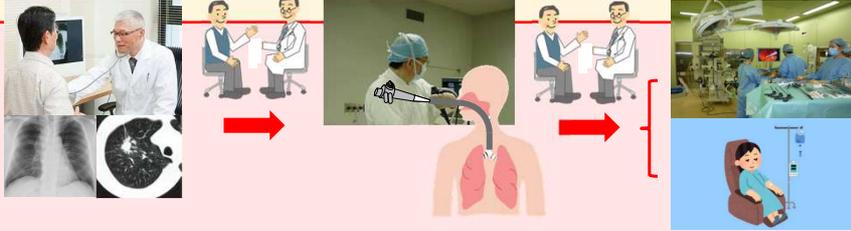
## 医療と関連法規

### 六法：守秘義務(刑法)



### 医療法・医師法

- 医師法：応召義務、無診察治療等の禁止、異常死体の届出等
- 医療法：特定機能病院、**インフォームド・コンセント**等



- 保険診療
- 医療機関と医師がともに指定が要件(自由意思)
  - 医療費は全医療機関一律
  - 健康診断は禁止

### 健康保険法など

全額自費負担：自由診療(医療費は自由に決めてよい)・健康診断など

## 国試問題 11SF24

医師の義務と規定する法律の組み合わせで正しいのはどれか。

- 守秘義務 ----- 医師法
- 応召義務 ----- 民法
- 説明義務 ----- 医療法
- 処方箋の交付義務 ----- 健康保険法
- 異状死体の届出義務 ----- 刑法

## - 国試からみた呼吸器外科病院実習 -

### • 医療と関連法規

1, 医療と関連法規：総論

2, 医療と関連法規：各論

- 医師法とその規定
- 医療法とインフォームドコンセント
- 医療法と医療安全

### 国試問題

115E28改

53歳の男性。10年前から糖尿病に対し経口血糖降下薬を内服していた。食道癌に対する手術後インスリンの経静脈投与を開始された。術後2日目に意識障害が出現し、血糖値32 mg/dLであった。主治医のインスリン投与指示を確認すると、輸液用点滴バッグ内に速効型インスリン10単位混注となっていたが、実際には担当した病棟医が100単位を混注していた。主治医が50%ブドウ糖の静注投与を行い患者の意識は回復した。主治医から病棟医への言葉として適切なものはどれか。

- 「リスクマネージャーへの報告が必要です」
- 「あなたの起こしたことなので、私には関係がありません」
- 「家族に心配をかけたくないので、連絡は控えておきましょう」
- 「診療録には、当初の指示通り10単位混注と記載してください」
- 「患者さんには、意識障害の原因は不明と答えましょう」

## 国試問題 113C2

医療事故調査制度について正しいのはどれかのはどれか。

- a. 調査は院外機関のみが行う
- b. 診療に起因した死亡全てが対象となる
- c. 事故発生時は医療機関から警察に速やかに届け出る
- d. 調査が終了するまで、医療機関は自己の説明をしてはならない
- e. 医療の安全を確保するために医療事故の再発防止を目的とした制度である

## 医療法と主な規定



- 1条 医療提供施設
  - ・病院、診療所、介護老人保健施設、調剤を実施する薬局、その他
- 4条 特定機能病院など
  - ・特定機能病院、地域医療支援病院、臨床研究中核病院
- 6条 医療に関する情報の提供(インフォームドコンセント)など
  - 医療の安全の確保
    - ・医療事故調査制度
- 7条 病床
  - ・精神病床、感染症病床、結核病床、療養病床、一般病床
- 10-23条 管理

# 医療法と医療安全

1948年 制定：医療機関  
・医療水準の確保等

1985年 一次改正  
1992年 二次改正  
1997年 三次改正  
2000年 四次改正



個人  
医師法・歯科医師法  
薬剤師法  
保健師助産師看護師法



2006年 第五次改正

2014年 六次改正  
2015年 七次改正

# 医療法と医療安全

1948年 制定：医療機関  
・医療水準の確保等

1985年 一次改正  
1992年 二次改正  
1997年 三次改正  
2000年 四次改正



インフォームド  
コンセント法制化

個人  
医師法・歯科医師法  
薬剤師法  
保健師助産師看護師法



2006年 第五次改正

2014年 六次改正  
2015年 七次改正

# 医療法と医療安全

1948年 制定：医療機関

・医療水準の確保等

1985年 一次改正  
1992年 二次改正  
1997年 三次改正  
2000年 四次改正

1999年 手術患者取り違え(横浜市大)  
消毒薬の血管内注射(都立広尾病院)  
2000年 エタノールの呼吸器加湿器注入(京大)  
内服薬の静脈内注射(東海大)

インフォームド  
コンセント法制化

個人

医師法・歯科医師法  
薬剤師法  
保健師助産師看護師法



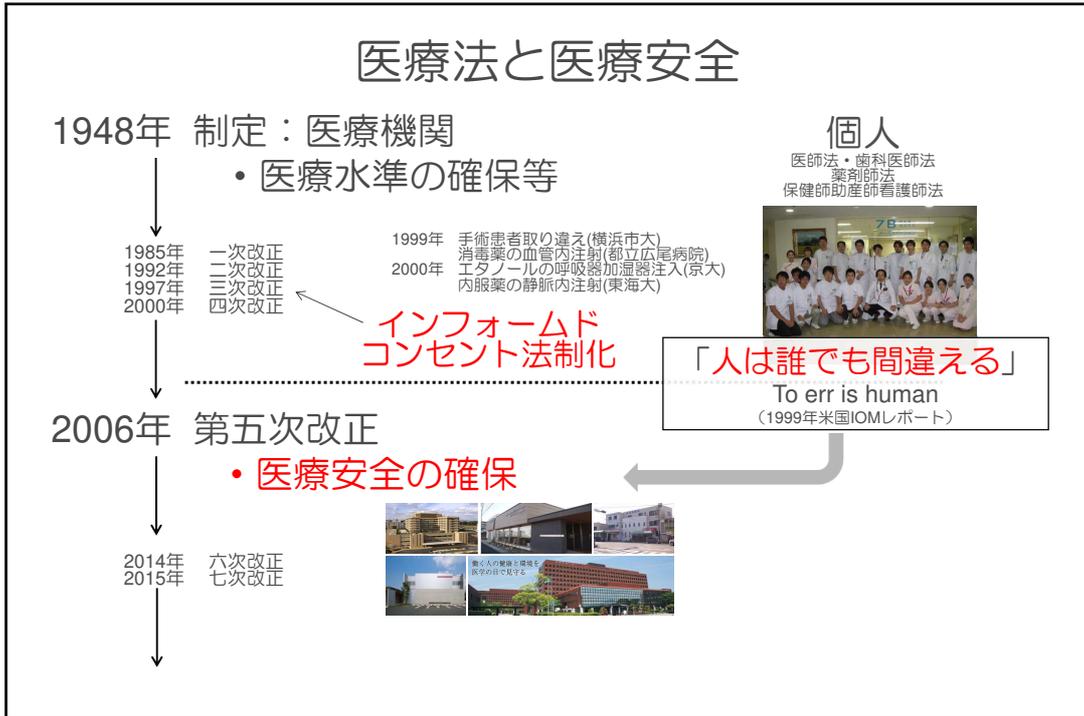
「人は誰でも間違える」

To err is human  
(1999年米国IOMレポート)

2006年 第五次改正

・医療安全の確保

2014年 六次改正  
2015年 七次改正



# 医療法と医療安全

1948年 制定：医療機関

・医療水準の確保等

1985年 一次改正  
1992年 二次改正  
1997年 三次改正  
2000年 四次改正

1999年 手術患者取り違え(横浜市大)  
消毒薬の血管内注射(都立広尾病院)  
2000年 エタノールの呼吸器加湿器注入(京大)  
内服薬の静脈内注射(東海大)

インフォームド  
コンセント法制化

個人

医師法・歯科医師法  
薬剤師法  
保健師助産師看護師法



「人は誰でも間違える」

To err is human  
(1999年米国IOMレポート)

2006年 第五次改正

・医療安全の確保

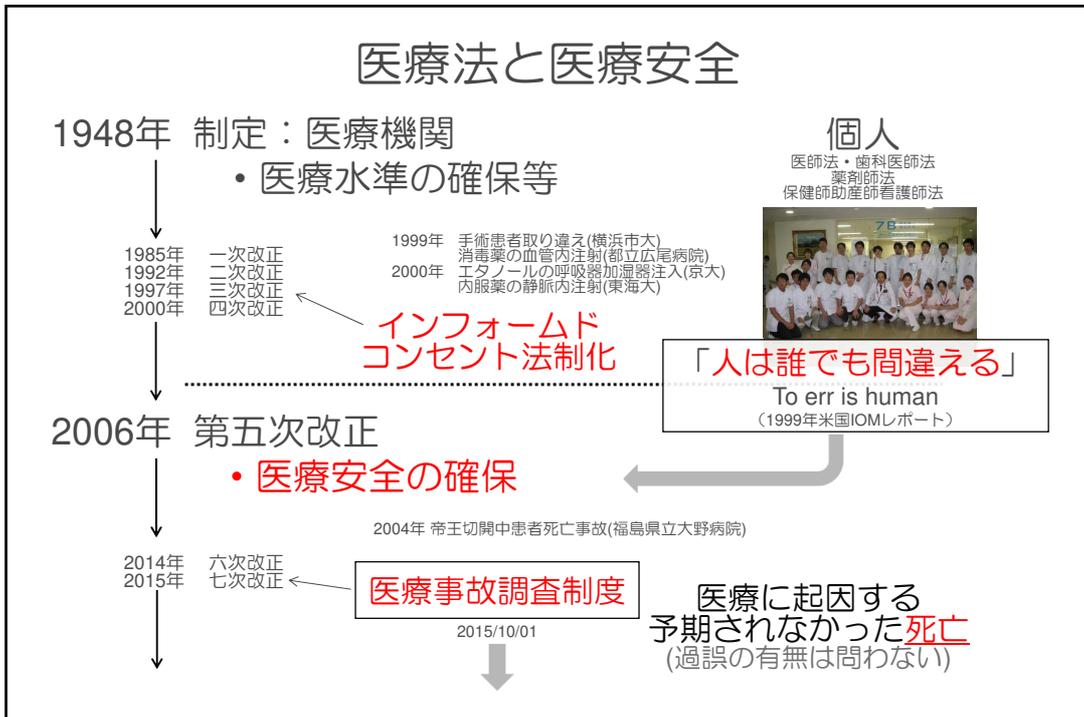
2014年 六次改正  
2015年 七次改正

医療事故調査制度

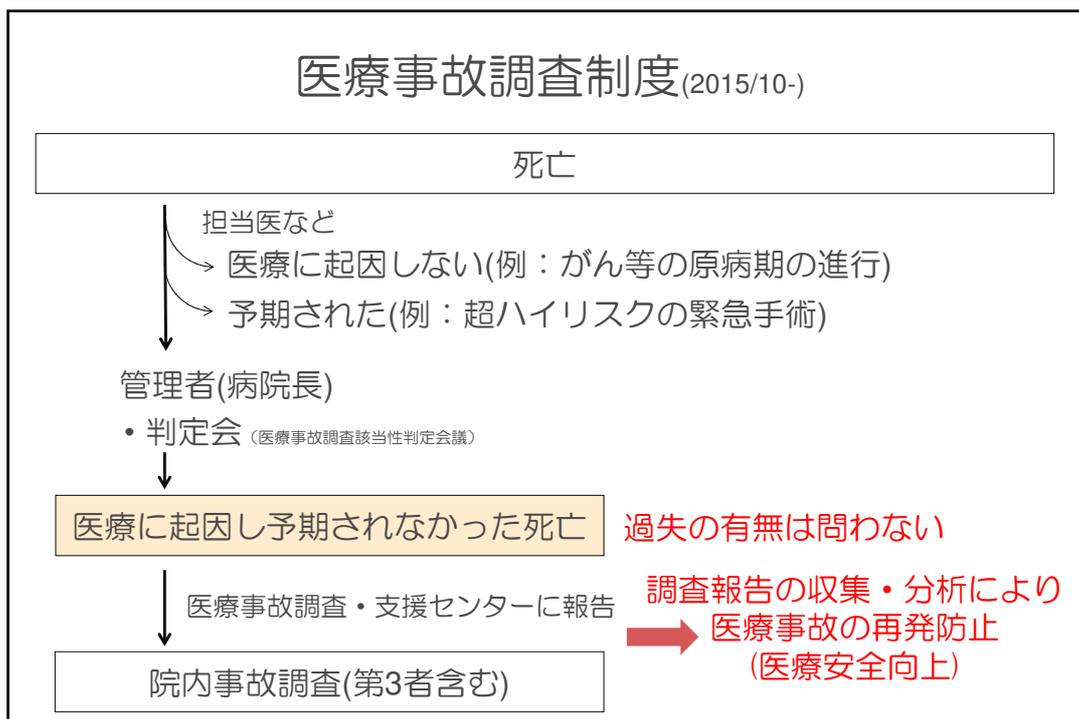
2015/10/01

医療に起因する  
予期されなかった死亡  
(過誤の有無は問わない)

2004年 帝王切開中患者死亡事故(福島県立大野病院)



## 医療事故調査制度(2015/10-)



## 国試問題 113C2

医療事故調査制度について正しいのはどれかのはどれか。

- 調査は院外機関のみが行う
- 診療に起因した死亡全てが対象となる
- 事故発生時は医療機関から警察に速やかに届け出る
- 調査が終了するまで、医療機関は自己の説明をしてはならない
- 医療の安全を確保するために医療事故の再発防止を目的とした制度である